

帰国ボランティアの採用に関心をお持ちの皆様へ

# 2018年度 JICAボランティア 民間企業/団体向け帰国報告・交流会

途上国において、現地の人々と共に日々試行錯誤しながら、様々な開発課題の解決にチャレンジしてきたJICAボランティア（青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア）。

約2年間の活動を終えて帰国し、今後はその経験を活かし、新たな挑戦を行うべく、活動の場を探しています。



青年海外協力隊事務局では、帰国ボランティアの採用に関心をお持ちの民間企業・団体等の皆様を対象に、年4回の「帰国報告会・交流会」を開催しています。2018年度は以下の日程で開催を予定しています。

参加いただく皆様には、ボランティアが現場でどんな活動を行ってきたのかを知っていただくと共に、「人材」としての活用の可能性も感じていただきたいと思います。また、ボランティア経験者に対して、現在求められている人材像や仕事のやりがい、組織としての魅力等についても発信いただく機会としても活用いただきたいと思います。ぜひ、参加をご検討ください。

2018年度開催日程		2017年度参加 ボランティア数
第1回	2018年5月23日(水) 10:30~14:00	48名
第2回	2018年8月29日(水) 10:30~14:00	83名
第3回	2018年11月14日(水) 10:30~14:00	89名
第4回	2019年2月20日(水) 10:30~14:00	61名

プログラム(予定)	
9:30	受付開始
10:00	開会
10:05	ボランティア活動報告 (代表者3名程度) JICAボランティアの自己紹介
11:20	企業・団体紹介
12:30	交流会
14:00	閉会



【会場】JICA市ヶ谷ビル（地球ひろば）  
国際会議場

住所：〒162-8433  
新宿区市谷本村町10-5

電話番号：03-3269-2911



- JR中央線・総武線、都営地下鉄新宿線「市ヶ谷駅」徒歩10分
- 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」徒歩8分

【申込みについては、裏面をご覧ください】

開発途上国の経済・社会の発展、復興に貢献することを目的に派遣されるJICAボランティアは、現地の人々と一緒になって2年間の活動を行います。活動現場では、常にコミュニケーション能力や積極性、行動力が求められ、試行錯誤しながら活動を行う中で様々な能力が磨かれます。

グローバルな視野や課題解決力等を身に付けたJICAボランティアに対しては、各界から高い関心と期待が寄せられています。



### 交流会の様子

参加いただいた企業・団体の方からは「参加者の熱が伝わってきて、とても有意義だった」「帰国ボランティアは共感力が高く話しやすい」「海外志向の方も多く、今後の会社戦略の参考になった」といったコメントをいただいています。

## JICAボランティアが持つ力

### ①グローバルな視野と適応力

途上国で現地の人と同じ目線で活動を行った経験から、多様な文化を受け入れる柔軟性や協調性を磨き、日本から世界を見るだけでなく、「世界全体の中の日本」を捉える視野を持っています。

### ②企画力・実践力

前例がないこと、現地の人々がこれまでできなかったことを実現するための活動を試行錯誤しながら行った経験から、企画力・調整力を磨き、実施力・実行力を培っています。

### ③語学・コミュニケーション力

英語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、中国語、アラビア語、ベンガル語、インドネシア語、タガログ語、時にはボディランゲージ・・・現場で培った語学力とコミュニケーション力を持っています。

### ④交渉力・問題対処能力

現地では、日本の常識は通用せず試行錯誤の連続です。課題の解決に向けて周囲を巻き込み、話し合いながら一步一步着実に対応した経験を通じて、交渉力や問題への対処能力を磨いています。

## 民間企業・団体向け帰国報告・交流会について

- 交流会の様子についてもう少し詳しく聞いてみたい。
- 参加の申込みはどのようにすれば良い？
- 参加した人の反応はどうだった？

といった質問がございましたら、お気軽に以下の担当窓口にお問い合わせください。

担当：独立行政法人国際協力機構(JICA)

青年海外協力隊事務局 参加促進・進路支援課

TEL：03-5226-9323 Email：jvtpc@jica.go.jp